

平成24年(ワ)第543号
原告 ほか 名
被告 東京電力株式会社

平成25年2月4日

新潟地方裁判所 御中

意見陳述書

原告 菅野正志
(原告番号 14)

(概要)

私は福島第一原発事故後、平成23年8月より、福島県郡山市から妻子を新潟市に避難させている菅野正志です。現在、妻と二人の娘が借り上げ住宅で避難生活をしています。私は郡山市で仕事を続け、金曜日の勤務終了後に新潟へ来て、日曜日の夕食後に郡山へ帰る生活をしています。

東京電力が原発事故を起こすまでは、私の両親・姉を含め7人家族で暮らしていました。私や妻が忙しくても、家族に遊んでもらえ、残業で遅くなっても寝顔を見ると幸せを感じていました。そして、それが活力となっていました。それが、福島第一原発が爆発し放射性物質を撒き散らしてしまった為に子供の健康を考え、避難させるしかなく、育ち盛りの可愛い娘と暮らす当たり前の事が出来なくなってしまいました。

郡山市に自宅があり、お墓もあり、私の親戚も妻の親戚も沢山います。そのような事故がなければ、当たり前のように大勢の家族で過ごし、親戚と集まり楽しい時間を過ごしていました。郡山で生まれ、郡山で育ち、郡山で子育てをして、郡山で老後を過ごすのが、当たり前の事と思っていました。それが、子供達と離れて暮らすなど、考えた事ありませんでした。

(取り返しのつかないミス)

震災当初、政府や東京電力は「直ちに影響はない」とテレビで一日に何回も伝えていました。私はそれに騙されました。避難してから知った事ですが、震

災当日から北海道・新潟・関東・関西と多くの人達が子供を連れ避難していました。それも沢山の人が。その人達はテレビ・新聞を信用しないで、自分でネットなどから情報を得ていました。私は、提供された情報だけを信じ、自分から情報を取りにいかなかった為に娘を被曝させてしまいました。悔やんでも悔やんでも悔やみきれません。あの時、政府・東京電力・マスコミが正確な情報を提供してくれていたなら。あの時、テレビを見ていないで、ネットを駆使していたら。後悔ばかりの毎日です。私の判断ミス・決断ミスで娘を避難させられなかった。被曝させてしまった。取り返しのつかないミスを犯してしまいました。

(妻の負担)

避難前は私の両親と同居していました。妻の実家も車で10分の所にあり、何かあればすぐに助けを借りられました。しかし、新潟には親戚も知り合いも居ません。全て妻が一人で背負っていかねばなりません。インフルエンザや怪我などしたら。誰が面倒をみるのか、心配で心配でたまりません。

(長女)

長女は震災三日後から三日間鼻血を出しました。今まで見た事もないような、バスタオルが真っ赤になる程でした。当時は余震が多く地震に怯えていたのでストレスかと思っていました。調べれば調べるほど、放射能の影響かと考えてしまいます。口内炎や目がかすんだり、熱が出ると、放射能の影響かと考えてしまいます。これを一生背負っていかねばなりません。

(二女)

震災後は娘を外に出しませんでした。しかし、買い物や春になり暖かくなると外に出さない訳にはいかず、帽子・マスク・長袖を着用させ、短時間でしたが外に出すようにしました。当時一歳になったばかりの二女は最初の頃、嫌がっていましたが、帽子・マスクを着用すれば外に出られる事を知り、まだ喋れない二女は外に出たくなると、帽子やマスクを持ってくるようになりました。そして、新潟に避難をした当日、外で思い切り遊ばせてあげようと片付けは後回しにして、外で遊ばせようと妻と決めていました。その時の二女の行動には「驚き・悲しみ・怒り」と様々な思いが駆け巡りました。その時の二女は、両手を使って頭と口に手をやったのです。「帽子やマスクがないよ」と。外に居るのだから、帽子とマスクをちょうだいと言ってきたのです。まだ話も出来ない小さな娘にこんな行動を取らせた東京電力が憎くて憎くてたまりません。現在、二女は三歳を迎え、毎週のように新しい言葉を喋るようになりました。

そんな育ち盛りの娘と一緒に暮らす事ができません。

(将来の健康・差別)

二人の娘は健康なまま大人になれるのか。福島で育った事を理由に結婚・就職などで差別を受けないか。無事に子供を生めるのか。全てが不安で不安でたまりません。

(長女の本音・親子離れ離れの生活の苦悩)

長女が小学2年生の夏休みに、妻と娘は新潟に避難してきました。お盆休みに引越した事もあり、私も約一週間の滞在をしました。お盆休みが終わり明日から仕事が始まるので、夕食を食べ郡山へ帰ろうとした時、長女は別れたいと泣き出しました。玄関で泣かれ、やっとの思いで駐車場まで行きましたが、またもや泣かれ、最後には車に乗って泣かれました。娘が悪い事をした訳でもなく、強引に帰る事は出来ませんでした。それからは、毎週泣かれる生活をしばらく続けなければなりません。それでも福島に連れて帰るつもりはないので、新潟に慣れる為に、そして新潟を好きになってもらう為に、色々と出掛け楽しませました。そんな事もあってか、三ヶ月程度で泣く事はなくなりました。しかし、慣れない土地での生活・家族一緒に暮らせない生活に馴染めなく、約一年間妻と一緒になければ登校出来ませんでした。その頃になると、「郡山にも新潟にも友達ができて転校は好き」と言うようになり、安心していました。そんな中、私の両親が子供達に会いに泊まりにきました。私の母に娘は「どうしてパパと一緒に暮らせないの。パパが好きなのにどうして。私が何か悪い事をしたの。ばあちゃん、郡山に連れて帰って」と泣きながら言われたそうです。母が泣きながら教えてくれました。私や妻が娘を守る為に一生懸命なのが分かっているのでしょうね。だから言えなかったのでしょうね。辛い想いをさせてしまいました。

つい最近、避難しているお母さんが綴った言葉です。

ずっと、ずっと言わなかった。お互いそうするのがいいって分かっていること。2年間我慢していた言葉。「新潟で一緒に住もうよ」やっと言えた。でも今、仕事はやめられないよね。それも分かっているし、パパが一番新潟に来たがっているのも分かっている。

こんな想いを避難者はしているのです。なにげない一言が言えないのです。非常にアンバランスな状態。たった一言を発したばかりに、全てが崩れてしまいそうで、怖くて言えないのです。このお母さんの気持ちを東京電力は理解で

きますか。

(福島・新潟の移動)

先月の成人式の日是全国的に雪になりました。郡山へ帰る時、新潟県内は順調だったものの、福島県に入ってからには渋滞が続きました。雪の為、通行止めになり IC 出口で渋滞でした。高速道路を降りるまで 5 時間、トータルで 7 時間半もの時間がかかりました。その渋滞の中には、妻子を新潟に避難させている父親が五人も居ました。通常でも往復で 5 時間を要します。高速料金・ガソリン代で年間 33 万円を越えます。それでも高速道路は、約半分しか使用しておりません。高速無料の頃は、全線高速道路を利用していましたが、高速無料化が打ち切られ、少しでも節約しようと磐梯河東 IC から新津 IC までの区間しか利用していません。仕事が終わってからの運転、週末を家族で楽しく出掛けた後の運転、かなりの疲労です。郡山市～新潟市の往復だけで年間 2 万 km も走ります。事故のリスク・雪道でのスリップ・車のタイヤやオイルの消耗。こんな苦勞をしても、子供の健康を願うため二重生活を選択しています。子供に会いたく毎週往復しています。こんな生活を好きでやっているわけではありません。

(移動のリスク・苦勞)

父親が忙しい人などは、週末に妻子が福島の子供に会いに行くと言う人も居ます。その方達も、一般道を使用し、高速道路は一部区間の利用しかしていません。多くの母親は小さな子供を連れての移動です。しかも、運転をしながら面倒をみなければなりません。この大変さを理解できるでしょうか。

(終わりに)

最後になりますが、新潟県民には温かく迎え入れてもらっています。本当に優しい。感謝する事ばかりです。感謝の気持ちを伝えると「困った時はお互い様」「新潟は中越地震・中越沖地震の時に福島県に助けられた」と言われます。そんな新潟県民に私達のような想いをさせたくない。もちろん、誰にも経験してほしくない。福島第一原発を管理しきれずにメルトダウンさせ、隠蔽し、多くの人達に迷惑をかけた運転能力のない東京電力に柏崎刈羽原発を動かされては困ります。今までも原発は安全と言ってきました。でも、事故は起きました。想定外の事だから仕方ないと言ったニュアンスです。また事故があっても「想定外」で済ませるつもりなのではないでしょうか。

賠償は全く進まない、事故後も会長・社長は天下り。私達は二重生活・避難生活で全くゆとりがないのに、東京電力はボーナスが支給され、来年度の年収は 46 万円のアップ。支援と言う名の税金を投入されています。どちらが加害者で、どちらが被害者なのか分からない世の中になってしまいました。

東京電力はこれまで、柏崎刈羽原発の原子炉建屋など重要施設の下にある断層について「将来活動することはない」と説明していますが、何を根拠に言っているのでしょうか。

また、福島第一原発事故の被害実態について、反論・評価をしていませんが、実態を把握していないのでしょうか。あれだけ大きな事故を起こしておいて、「柏崎刈羽原発における具体的危険の主張がない」とするのは、どのような考えから言っているのでしょうか。原発という危険な運転をする以上、あらゆる方面から検証し「想定外など絶対にない安全」を確保しない東京電力が運転する原発など、それだけで危険だと思います。

裁判所には、避難の現実・二重生活の苦勞をよく知ってもらい、東京電力が原発を動かす資格があるのか判断してほしいです。